

診療科目：産婦人科

カテゴリー：選択必修科目、選択科目

一般目標：産婦人科疾患に対し、正確な診断を下し、適切な治療を想定実行できる医師となるべく更なる症例を経験すること。

#### 【個別目標】

- ・産婦人科疾患の初期対応・基本的診察（内診・超音波検査を含む）を習得する。
- ・妊娠経過を理解し、正常妊娠・分娩の管理を習得する。
- ・新生児の診察および管理を習得する。
- ・帝王切開の手技を習得する。
- ・産婦人科救急疾患の的確な診断・迅速な対応を学習する。
- ・良性疾患の手術（開腹術、腔式手術、内視鏡手術）を学習する。
- ・悪性疾患の診断・治療・管理を学習する。

#### 【指導原則・方法】

病棟研修が基本である。産科、婦人科症例を同時に受け持つ。

1. 研修医は入院患者の主治医となり、指導医の指導の下、殆ど全ての指示を出す。
2. 週1回カンファレンスにて受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。
3. 研修医当番(オンコール)医制を採用、時間外患者の診察、診断を正規当番(オンコール)医とともにいき、入院・分娩・手術となれば担当医として指導医の指導の下、治療を行う。
4. 指導医の外来診療補助を行い、産婦人科臨床の基本を学習する。